

【1-3】

湾・灘の区分	播磨灘
取組の名称	藻場の保全及び再生の取組(邑久町)
事業期間及び事業費	事業期間:平成25年度より実施 事業費:県費のほか、協定に基づく企業からの寄付金等を活用
事業体制	<p>【事業実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 邑久町漁業協同組合 ○ 生活協同組合おかやまコープ ○ 特定非営利活動法人里海づくり研究会議 ○ 岡山県 <p>【アマモ播種数の算出、潜水によるアマモ発芽状況の調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 岡山県農林水産部水産課 ○ " 農林水産総合センター 水産研究所 <p>【目視によるアマモ発芽状況の調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 漁業者 <p>※関係機関・部局等で調査結果等を共有</p>
事業の背景・目的	瀬戸内市邑久町地先には、かつては広大なアマモ場が存在していたが、様々な環境の変化により、激減した。近年、海域環境の回復により徐々に再生してきており、更なるアマモ場面積の再生を目指し、平成25年に邑久町漁業協同組合、生活協同組合おかやまコープ、特定非営利活動法人里海づくり研究会議及び岡山県の4者がアマモ場再生活動に係る連携協定を締結し、以降、幅広い参加者による再生活動を実施している。
事業場所の詳細	瀬戸内市邑久町地先
事業内容	アマモの種子の採取 アマモの種子の播種
モニタリング方法(効果の確認方法)の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・[調査内容] アマモの発芽状況 ・[調査時期・頻度] アマモ発芽時期(1月頃) ・[調査場所] 播種場所 ・[モニタリング方法] 播種数の算出、潜水・目視による発芽状況の調査
取組による効果・影響及びその判断基準等	平成27年度に実施した藻場分布状況調査の結果、瀬戸内市邑久町地先のアマモ場は約195haであった。
モニタリング結果の活用方法	発芽状況の調査結果を踏まえ、播種時期や種取り時期、播種場所を検討する。
現状での課題	
今後の予定等	引き続き、連携協定に基づき、活動を継続する。
取組事例についての発表資料等	
情報提供元	岡山県環境文化部環境管理課